

우리말 우리글

國語學習 (基礎)

財団法人 朝鮮奨学会

カ ギャ ビョ
가 가

ハングルの子音と母音を縦横に書き、子音と母音を合わせて文字を作った表を가가^{カ ギャ ビョ} (反切表) ^{バンチョルビョ} といいます。

母音 子音	ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ	合成 母音
ㄱ, ㄷ κ, γ	가 カ	갸 キヤ	거 コ	겨 キョ	고 コ	교 キョ	구 ク	규 キュ	그 ク	기 キ	ㅏ Y
ㄴ ν	나 ナ	냐 ニヤ	너 ノ	녀 ニョ	노 ノ	뇨 ニョ	누 ヌ	뉴 ニユ	느 ヌ	니 ニ	ㅑ φY
ㄷ τ, δ	다 タ	댜 テイヤ	더 ト	더 テイヨ	도 ト	됴 テイヨ	두 トウ	듀 テユ	드 トウ	디 テイ	ㅓ ε
ㄹ ρ, λ	라 ラ	랴 リヤ	러 ロ	려 リョ	로 ロ	료 リョ	루 ル	류 リュ	르 ル	리 リ	ㅕ φε
ㅁ μ	마 マ	먜 ミヤ	머 モ	며 ミョ	모 モ	묘 ミョ	무 ム	뮤 ミュ	므 ム	미 ミ	ㅗ ωα
ㅂ π, β	바 バ	뵜 ピヤ	버 ボ	벼 ピョ	보 ボ	뵜 ピョ	부 プ	뷰 ピユ	브 プ	비 ピ	ㅛ ωY
ㅅ σ	사 サ	샤 シヤ	서 ソ	셔 ショ	소 ソ	쇼 ショ	수 ス	슈 シュ	스 ス	시 シ	ㅜ we
ㅇ 無音	아 ア	야 ヤ	어 オ	여 ヨ	오 オ	요 ヨ	우 ウ	유 ユ	으 ウ	이 イ	ㅕ ωχ
ㅈ τΣ, δθ	자 チャ	쟸 チャ	저 チョ	져 チョ	조 チョ	죠 チョ	주 チュ	쥬 チュ	즈 チュ	지 チ	ㅓ ωε
ㅊ τΣ ^h	차 チャ	찰 チャ	처 チョ	쳐 チョ	초 チョ	쵸 チョ	추 チュ	쥬 チュ	츠 チュ	치 チ	ㅕ ωι
ㅋ κ ^h	카 カ	갸 キヤ	커 コ	켜 キョ	코 コ	교 キョ	쿠 ク	규 キュ	크 ク	키 キ	ㅗ ω
ㅌ τ ^h	타 タ	댜 テイヤ	터 ト	더 テイヨ	토 ト	됴 テイヨ	투 トウ	듀 テユ	트 トウ	티 テイ	
ㅍ π ^h	파 パ	뵜 ピヤ	퍼 ポ	벼 ピョ	포 ポ	뵜 ピョ	푸 プ	뷰 ピユ	프 プ	피 ピ	
ㅎ η	하 ハ	햐 ヒヤ	허 ホ	혀 ヒョ	호 ホ	효 ヒョ	후 フ	휴 ヒユ	흐 フ	히 ヒ	
ㄱ' κ'	까 カ	갸 キヤ	꺼 コ	켜 キョ	코 コ	교 キョ	꾸 ク	규 キュ	크 ク	끼 キ	
ㄷ' τ'	따 タ	댜 テイヤ	터 ト	더 テイヨ	토 ト	됴 テイヨ	뚜 トウ	듀 テユ	뜨 トウ	띠 テイ	
ㅂ' π'	빠 パ	뵜 ピヤ	퍼 ポ	벼 ピョ	포 ポ	뵜 ピョ	뿌 プ	뷰 ピユ	쁘 プ	삐 ピ	
ㅅ', Σ' σ', Σ'	싸 サ	샤 シヤ	서 ソ	셔 ショ	소 ソ	쇼 ショ	수 ス	슈 シュ	스 ス	씨 シ	
ㅈ' τΣ'	짜 チャ	찰 チャ	저 チョ	져 チョ	조 チョ	죠 チョ	주 チュ	쥬 チュ	즈 チュ	찌 チ	

ハングル(文字)とウリマル(国語)を学習する皆さんへ

わが国の文字をハングルと言います。わが国ではハングルが作られるまでの長い間、中国から伝来した漢字または漢文の音・訓をかりる吏読（イドゥ）<リドゥ>という方法で言葉を表していました。漢字を学ぶことができたのは、官職をめざす一部の貴族だけでしたから、ほとんどの民衆は自分の思いを文字で書き表すことができませんでした。

現在、わが国の南北で共通に使われているハングルが誕生したのは、15世紀の中頃、朝鮮時代（1392～1897）四代目の王である世宗^{セジョン}大王の時でした。

世宗大王は学者たちを集め、民衆に分かりやすい固有の文字の創製に取り組むことを命じました。1446年に公布されたハングルは、当時「訓民正音」とよばれ、「訓」は教えるという意味で「民を教え導く正しい文字」ということになります。

ハングルの誕生によって、わが国固有の言葉を漢字を用いずに、発音のまま書き表せるようになりました。分かりやすく覚えやすいこの文字は、しだいに民衆の中に広まり、わが国の文化の発展と普及におおいに貢献しました。

ハングルという名称は19世紀の終わり頃に命名されたもので「唯一の文字」「偉大な文字」という意味です。

ハングルは世界でも比較的新しい文字であり、その独創性と科学性はわが民族が世界に誇れる文字と言えます。

ウリマルは語彙^{ごい}が豊富で母音・子音の数が日本語より多いため、発音を正しく習得することが肝心です。

父母や祖父母、友人、留学生、ラジオ、テレビ、映画、インターネットなどを通じて「聞く・話す・読む・書く」機会を増やしましょう。

奨学生の皆さんの中には高校、大学でハングルの講義を受講中の方もいます。このテキストは、ウリマルを初めて学ぼうとする学生が1日1時間、1カ月で計30時間程度の学習によって、文字と発音、基本的な文型を練習できるように作成しました。ノートを用意して、音読を繰り返しながら復習・練習問題の書き取りをするようにしてください。

歴史や文化、芸術などにも大いに関心を持ちながら、学習を積み重ねましょう。

●国語のつづり方

- ・縦書き、横書きの両方あります。最近では新聞、書籍をはじめ横書きが主流です。句読点は、文章の途中にコンマ「,」、文末にピリオド「.」、疑問文は疑問符「?」を使います。
- ・分かち書き (티오스기) < 띄어쓰기 > *

名詞、代名詞、感嘆詞、副詞など、品詞ごとに1字分を空けて分かち書きします。ただし、助詞と指定詞は、体言（名詞や代名詞）に続けて書きます。

※第8課の文型から単文を学習しますので、徐々に覚えましょう。

*本文中、大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国で表記が異なる場合は、朝鮮民主主義人民共和国での表記を< >内に示してあります。

●国語と日本語の比較

- ・音韻上の性格が似ている。
- ・文法構造が非常に似ている。語順がほぼ同じで、単数、複数の区別がない。
- ・助詞や接尾語がつく。
- ・代名詞の体系が似ている。「これ、それ、あれ、どれ」「この、その、あの、どの」

以上のように似ている面がきわめて多く、ほとんど逐語訳できるといえます。ただ、ウリマルは、母音と子音数が多く、パッチムや連音など、日本語と異なる面がありますので、文字と発音を習得することが必要です。

●日本でのハンゲル学習

国語 (우리말ウリマル、우리글ウリクル) の話者は、人口数の近いフランスやイタリアとほぼ肩を並べます。

日本の国公立 (短期大学含む) 大学で、ハンゲルの講座は184校で開講されており約2万名の学生が受講しています。

2002年度から「大学入試センター試験」の外国語選択科目になりました。

も く じ

ハングル（文字）とウリマル（国語）を学習する皆さんへ ----- 1

I 文字と発音

第1課	母音（1）	基本母音	会話	あいさつ	-----	6
第2課	子音（1）	平音	会話	自己紹介	-----	11
第3課	子音（2）	激音・濃音	会話	趣味	-----	18
第4課	母音（2）	合成母音	会話	感謝・おわび	-----	26
第5課	パッチム（1）		会話	食事	-----	31
第6課	パッチム（2）				-----	35
第7課	さまざまな発音				-----	39
	*家族・親戚				-----	43
	*姓氏について				-----	44

II 文型練習

	*品詞について				-----	46
第8課	私は大学生です。				-----	47
第9課	それはなんですか？				-----	51
第10課	学校は名古屋にあります。				-----	54
第11課	今日は天気が良いです。				-----	58
第12課	数詞				-----	61
第13課	奨学会に電話しました。				-----	65
第14課	世界の国々へ行けます。				-----	69
第15課	敬語				-----	73
	*歌「われらの願い」				-----	75
	*辞書の引き方				-----	76
	*インターネットを活用しよう				-----	77
	*テキスト紹介				-----	78

◆◆ 第1課 母音(1) 基本母音 ◆◆

●母音の発音と文字

ウリマルの母音は、基本母音 10 個と合成母音 11 個で構成されます。
ここでは 10 個の基本母音を学びます。



1) 母音について

母音は次の 21 個です。

基本 母音	ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ	
	あ	や	お	よ	<u>お</u>	<u>よ</u>	う	ゆ	<u>う</u>	い	
合成 母音	ㅘ	ㅙ	ㅚ	ㅜ이	ㅗㅓ	ㅛㅕ	ㅜㅠ	ㅠㅜ	ㅞ	ㅟ	ㅠ
	え	いえ	<u>え</u>	<u>いえ</u>	うあ	うえ	<u>うえ</u>	うお	<u>うえ</u>	うい	<u>うい</u>

2) 基本母音 (10) から学びましょう。

§ 母音 : 10 個 声を出し 3 回以上読んで暗誦してください。

ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ
あ	や	お	よ	<u>お</u>	<u>よ</u>	う	ゆ	<u>う</u>	い

§ ひらがなをふると、下線のように「お」「よ」「う」と発音される音が 2 つずつあります。次ページの表を参照し、唇の形を意識して異なる音として発音しましょう。唇の形や発声する音は、日本語の音と異なります。

§ 2 課で学ぶ子音の「^{イウン}ㅇ」に母音の「^アㅏ」を組み合わせ、文字「아」「あ」と発音します。文字を見ながら発音しましょう。

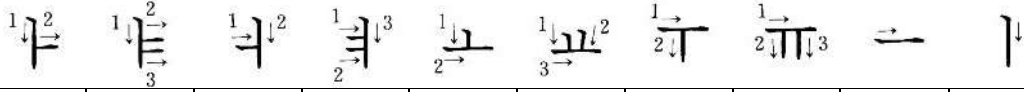
아	야	어	여	오	요	우	유	으	이
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

母音の発音と文字

母音 (文字)	発音記号	口の形	発音の要領
ㅏ (ㅏ)	α		口をやや大きめに開けて「ア」と音を出します。 日本語の「ア」とほぼ同じですが鮮明に発音します。
ㅑ (ㅑ)	φα		「ㅏ」「ㅏ」に y の音が加わって「ヤ」と音を出します。 日本語の「ヤ」とほぼ同じ。
ㅓ (ㅓ)	χ		「ㅏ」「ㅏ」より口を少し小さめに開けて「オ」と音を出します。
ㅕ (ㅕ)	φχ		「ㅓ」「ㅓ」に y の音が加わって、「ヨ」と音を出します。
ㅗ (ㅗ)	ο		唇をまるめて「ウ」と発音します。 日本語の「ウ」とほぼ同じ。
ㅛ (ㅛ)	φο		「ㅗ」「ㅗ」に y の音が加わって、「ユ」と音を出します。 日本語の「ユ」とほぼ同じ。
ㅜ (ㅜ)	υ		唇をまるめて「ウ」と発音します。 日本語の「ウ」とほぼ同じ。
ㅠ (ㅠ)	φυ		「ㅜ」「ㅜ」に y の音が加わって、「ユ」と発音します。
ㅡ (ㅡ)	w		唇を左右一文字に開くようにして「ウ」と発音します。
ㅣ (ㅣ)	ι		唇を左右にやや開くようにして「イ」と発音します。 日本語の「イ」とほぼ同じですが鮮明に発音します。

3) 母音の筆順

*唇の形に注意し「^あ아 ^야야 ^어어 ^여여 ^오오 ^요요 ^우우 ^유유 ^으으 ^이이」と声を出しながら書きましょう。



文字	아	야	어	여	오	요	우	유	으	이
練習1										
練習2										
練習3										

★練習問題：上の表を見ながら、次の単語を読みましょう。

- ① 아이 (こども)
- ② 여우 (きつね)
- ③ 여유 (余裕)
- ④ 오이 (きゅうり)
- ⑤ 우아 (優雅)
- ⑥ 우유 (牛乳)
- ⑦ 유아 (幼児)

練習問題の読み方のカタカナ表記。

- ① アイ
- ② ヨウ
- ③ ヨユ
- ④ オイ
- ⑤ ウア
- ⑥ ウユ
- ⑦ ユア

★復習

①基本母音 10 です。空欄をうめて順序どおりに書き暗誦しましょう。

	야			오		우			이
--	---	--	--	---	--	---	--	--	---

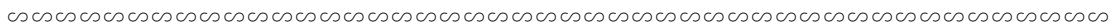
②練習問題の単語を 3 回書きましょう。

① 아이 (こども)			
② 여우 (きつね)			
③ 여유 (余裕)			
④ 오이 (きゅうり)			
⑤ 우아 (優雅)			
⑥ 우유 (牛乳)			
⑦ 유아 (幼児)			

◆◆ 第2課 子音(1) 平音 ◆◆

●子音の発音と文字

ウリマルの子音は19個あります。9つの平音のほかに、日本語にはない激音と濃音が5つずつあります。ここでは子音字19個と、平音9個の発音を学びます。



1) 子音字について

子音は次の19個です。

平音 (9)	ㄱ	ㄴ	ㄷ	ㄹ	ㄴ	ㄷ	ㄴ	ㅇ	ㅅ
	か	な	た	ら	ま	ぱ	さ	あ	ちゃ
激音 (5)	ㅋ		ㅌ			ㅍ		ㆁ	ㅆ
	か		た			ぱ		は	ちゃ
濃音 (5)	ㄱ		ㄷ			ㅍ	ㅅ		ㅆ
	かつ		たっ			ぱっ	さっ		ちゃっ

子音の筆順: 空欄に書いて練習しましょう。濃音は、平音の文字を2つ並べます。

ㄱ	ㄴ	ㄷ	ㄹ	ㄴ	ㄷ	ㅍ	ㅅ
ㅇ	ㅅ	ㅆ	ㅋ	ㅌ	ㅍ	ㆁ	ㅆ

子音の発音と文字（平音）

文字	発音	発音の要領
ㄱ	$\begin{matrix} \kappa - \\ - \gamma - \end{matrix}$	カ行音の「カ」(k)より軽く発音します。
ㄴ	v	ナ行音の「ナ」(n)の音。
ㄷ	$\begin{matrix} \tau - \\ - \delta - \end{matrix}$	タ、テ、トの〔t〕の音より少し息を軽く出して発音する。
ㄹ	$\rho -$	ラ行音の〔r〕の音。 舌先を口蓋にくっつけます。
ㅁ	μ	マ行音の〔m〕の音。 唇をしっかり閉じます。
ㅂ	$\begin{matrix} \pi - \\ - \beta - \end{matrix}$	パ行音の〔p〕の音より息を少し軽く出して発音します。
ㅅ	$\sigma (\Sigma)$	サ行音の〔s〕〔Σ〕の音。
ㅇ	無音	母音の前では発音されません。
ㅈ	$\begin{matrix} \tau \Sigma - \\ - \delta \theta - \end{matrix}$	チャ、チュ、チョの〔τΣ〕の音より息を少し軽く出して発音します。

2) 平音 (9) から学びましょう。

§ 前ページの表を参考にして、声を出し3回以上読んで暗誦してください。

ㄱ	ㄴ	ㄷ	ㄹ	ㅁ	ㅂ	ㅅ	ㅇ	ㅈ
か	な	た	ら	ま	ぱ	さ	あ	ちゃ

§ 子音「ㄱ」に母音の「ㅏ」を組み合わせ、文字「가」「か」と発音します。
文字を見ながら発音しましょう。

가	나	다	라	마	바	사	아	자
---	---	---	---	---	---	---	---	---

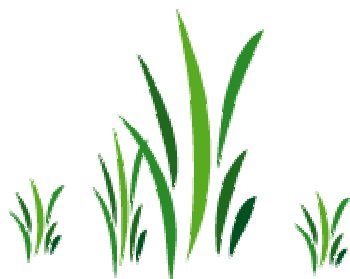
§ 横の列を二文字ずつ軽く切って読みましょう。

「ㄱ」、「ㄷ」、「ㅂ」、「ㅈ」は、最初の文字は濁らずに、次の文字は濁音で読みましょう。「カギヤ、コギョ、コギョ、クギユ、クギ」と一列ずつ読みます。母音を発音する際の唇の形に注意しながら音読しましょう。

가 カ	가 キヤ	거 コ	겨 キョ	고 コ	교 キョ	구 ク	규 キユ	그 ク	기 キ
나 ナ	냐 ニヤ	너 ノ	녀 ニョ	노 ノ	뇨 ニョ	누 ヌ	뉴 ニユ	느 ヌ	니 ニ
다 タ	다 テイヤ	더 ト	더 テイヨ	도 ト	됴 テイヨ	두 トゥ	듀 テユ	드 トゥ	디 ティ
라 ラ	랴 リヤ	러 ロ	려 リョ	로 ロ	료 リョ	루 ル	류 リュ	르 ル	리 リ
마 マ	먀 ミヤ	머 モ	며 ミョ	모 モ	묘 ミョ	무 ム	뮤 ミュ	므 ム	미 ミ
바 パ	바 ピヤ	버 ポ	벼 ピョ	보 ポ	뵤 ピョ	부 プ	뷰 ピユ	브 プ	비 ピ
사 サ	샤 シヤ	서 ソ	셔 ショ	소 ソ	쇼 ショ	수 ス	슈 シユ	스 ス	시 シ
아 ア	야 ヤ	어 オ	여 ヨ	오 オ	요 ヨ	우 ウ	유 ユ	으 ウ	이 イ
자 チャ	자 チャ	저 チョ	져 チョ	조 チョ	죠 チョ	주 チュ	쥬 チュ	즈 チュ	지 チ

◆練習：唇の形に注意し「^{カギヤ}가가, ^{コギョ}거겨…」、「^{ナニヤ}나냐, ^{ノニョ}너녀…」と声を出しながら、
子音+母音を組み合わせ空欄に文字を書き入れましょう。

母音 子音	ㅏ α	ㅑ φα	ㅓ λ	ㅕ φλ	ㅗ o	ㅛ φo	ㅜ u	ㅠ φu	ㅡ w	ㅣ i
ㄱ κ, γ	가									기
ㄴ ν		냐								
ㄷ τ, δ			더							
ㄹ ρ, λ				려						
ㅁ μ					모					
ㅂ π, β						보				
ㅅ σ							수			
ㅇ 無音								유		
ㅈ τΣ, δθ									즈	



★練習問題：表を見ながら次の単語を読みましょう。

①ㄱ	가수 (歌手) 가지 (なす、枝) 거미 (クモ) 고기 (肉、魚) 기구 (器具)
②ㄴ	나이 (年齢) 나무 (木) 나비 (蝶) 누구 (誰) 뉴스 (ニュース)
③ㄷ	다리 (足、橋) 도미 (鯛) 도서 (図書) 도시 (都市) 두부 (豆腐)
④ㄹ	라디오<라지오> (ラジオ)
⑤ㄹ	머리 (頭) 모자 (帽子) 무<무우> (ダイコン)
⑥ㅅ	바구니 (かご) 바지 (ズボン) 보리 (麦) 비 (雨)
⑦ㅅ	소 (牛) 소리 (音、声) 소나무 (松)
⑧ㅇ	아버지 (お父さん) 어머니 (お母さん) 우리 (私たち) 요<료>리 (料理) 이마 (ひたい)
⑨ㅅ	자리 (席) 저고리 (チョゴリ) 주소 (住所) 지도 (地図)

練習問題の読み方のカタカナ表記：

- ① ㄱ 카스 카지 코미 코기 키그
 ② ㄴ 나이 ナム ナ비 님그 ニュ스
 ③ ㄷ 타리 토미 토소 토시 토투브
 ④ ㄹ 라디오<라지오>
 ⑤ ㄹ 모리 모자 무<무우>
 ⑥ ㅅ 바구니 바지 보리 비
 ⑦ ㅅ 소 소리 소나무
 ⑧ ㅇ 아보지 오모니 우리 요<료>리 이마
 ⑨ ㅅ 차리 초고리 초소 초도

★会話2 「自己紹介」

チャギソゲルル ハムニダ
자기소개를 합니다.

自己紹介をします。

チョエ イルムン キムトンイルイムニダ
저의 이름은 김통일입니다.

私の名前は、金統一です。

ア ボジ ソンハムン キムジンギユイムニダ
아버지 성함은 김진규입니다.

父の名前は金ジンギユです。

オ モニ ソンハムン チョンミスニム니다
어머니 성함은 정미순입니다.

母の名前は鄭ミスンです。

コヒャンウン ソウル ピョンヤン イム니다
고향은 서울 (평양) 입니다.

故郷はソウル (ピョンヤン) です。

★復習：

①空欄をうめて、子音の平音9を順番どおりに書き、音読しましょう。

가		다		마		사		자
---	--	---	--	---	--	---	--	---

②練習問題の単語を3回以上書いて音読しましょう。

下の表に入っていない単語は、ノートで練習して下さい。

가수 (歌手)			
뉴스 (ニュース)			
도미 (鯛)			
라디오<라지오> (ラジオ)			
모자 (帽子)			
보리 (麦)			
소 (牛)			
어머니 (お母さん)			
지도 (地図)			

※字母一覧表

下表のように、子音の文字にはそれぞれ名称がついています。

子音字母	発音	名称
ㄱ	[k, γ]	기역 (キヨク)・기음 (キウク)
ㄴ	[v]	니은 (ニウン)
ㄷ	[t, δ]	디귄 (ティグツ)・디음 (ティウツ)
ㄹ	[p, λ]	리을 (リウル)
ㅁ	[μ]	미음 (ミウム)
ㅂ	[π, β]	비읍 (ピウフ)
ㅅ	[σ, Σ]	시오트 (シオツ)・시우트 (シウツ)
ㅇ	[無音]	이응 (イウン)
ㅈ	[tΣ, dθ]	지읒 (チウツ)
ㅊ	[tΣ ^h]	치읓 (チウツ)
ㅋ	[k ^h]	키읔 (キウク)
ㅌ	[t ^h]	티읕 (ティウツ)
ㅍ	[π ^h]	피읖 (ピウフ)
ㅎ	[η]	히읇 (ヒウツ)
ㄱㅅ	[k']	쌍기역 (サンキヨク)・끼읔 (キウツ)
ㄷㅌ	[t']	쌍디귄 (サンティグツ)・띠읕 (ティウツ)
ㅂㅍ	[p']	쌍비읍 (サンビウフ)・뽀읖 (ピウツ)
ㅅㅆ	[σ', Σ']	쌍시오트 (サンシオツ)・씨읓 (シウツ)
ㅈㅊ	[tΣ']	쌍지읒 (サンジウツ)・찌읓 (チウツ)

①この表は伝統的な配列で示してあります。ただし濃音は、平音の字母と分離せず混合配列にするのが伝統的には普通です。

②子音字母の名称は、伝統的なものを示してありますが、母音「이 으」の前後にその子音をつけて発音し、初音と終音の発音を示すのが原則です。

◆◆ 第3課 子音(2) 激音・濃音 ◆◆

● 激音と濃音

第2課で学んだ平音は「자차、가카、다타、바ば」と日本語の音のように発音しますが、ウリマルの子音には日本語にはない激音と濃音があります。

平音は9つ (ㄱㄴㄷㄹㅇㅂㅅㅈㅊㅌㅍㅍㅍㅍ)、激音は5つ (ㅊㅍㅍㅍㅍ)、濃音は5つ (ㅊㅌㅌㅌㅌㅌ) です。



1) 激音「ㅊ、ㅍ、ㅍ、ㅍ、ㅎ」5個

激音は、「차は、かは、たは、ぱは、は」のように、息を強く出して発音する音です。「차は、かは、たは、ぱは、は」を一音（一拍）で発音します。薄い紙を手にとって、向こう側に飛ばす勢いで発音を繰り返すうちに、自然に発音できるようになります。

2) 激音の文字

§ 激音5個：息を強く出し3回以上読んで暗誦してください。

ㅊ	ㅍ	ㅍ	ㅍ	ㅎ
차	카	타	파	하

§ 子音「ㅊ」に母音の「ㅏ」を組み合わせ、文字「차」「차」となります。

文字を見ながら発音しましょう。

차	카	타	파	하
---	---	---	---	---

§ 二文字ずつ軽く切って音読しましょう。激音には濁音はありません。

薄い紙が揺れるように、鏡の前で発音練習しましょう。

차 チャ	차 チャ	처 チュ	처 チュ	초 チュ	초 チュ	추 チュ	추 チュ	츠 チュ	치 チ
카 カ	카 キャ	커 コ	켜 キョ	코 コ	쿄 キョ	쿠 ク	큐 キュ	크 ク	키 キ
타 タ	타 テイヤ	터 ト	터 テイヨ	토 ト	토토 テイヨ	투 トゥ	튜 ティユ	트 トゥ	티 ティ
파 パ	파 ピヤ	퍼 ポ	펴 ピョ	포 ポ	표 ピョ	푸 プ	퓨 ピュ	프 プ	피 ピ
하 ハ	하 ヒヤ	허 ホ	혀 ヒョ	호 ホ	효 ヒョ	후 フ	휴 ヒュ	호 フ	히 ヒ

3) 濃音「ㄱ, ㅋ, ㆁ, ㆁ, ㆁ」5個

濃音は、激音とは異なり息を吐き出さず喉をしぼるようにして強く発音します。

日本語の「まっちゃ (抹茶)」「うっちゃり」の「っ」に近い音です。

4) 濃音の文字

§ 濃音 5 個： 声を出し 3 回以上読んで暗誦してください。

ㄱ	ㅋ	ㆁ	ㆁ	ㆁ
かっ	たっ	ぱっ	さっ	ちゃっ

§ 子音「ㄱ」に母音の「ㅏ」を組み合わせ、文字「까」「가」となります。

文字を見ながら発音しましょう。

까	따	빠	싸	짜
---	---	---	---	---

§ 二文字ずつ軽く切って音読しましょう。濃音には濁音はありません。

濃音は硬音 (かたい音) ともいい、腹に力を入れて喉をぐっとしぼるようにして発音します。

까	까	꺼	껴	꼬	꼬	꾸	꾸	쿠	끼
カ	キャ	コ	キョ	コ	キョ	ク	キュ	ク	キ
따	따	떠	떼	토틀	토틀	투	튜	투	티
타	ティヤ	ト	ティョ	ト	ティョ	トゥ	ティユ	トゥ	ティ
빠	빠	빼	빼	포	포	푸	푸	푸	피
パ	ピヤ	ポ	ピョ	ポ	ピョ	プ	ピユ	プ	ピ
싸	싸	써	써	쏘	쏘	수	슈	수	시
サ	シヤ	ソ	ショ	ソ	ショ	ス	シュ	ス	シ
짜	짜	쳐	쳐	초	초	추	추	추	치
チャ	チャ	チョ	チョ	チョ	チョ	チュ	チュ	チュ	チ

◆練習 1 : 平音、濃音、激音の区別をして読みましょう。

- ① 가지 / 커피 / 까치 ② 도미 / 토지 / 허리띠
- ③ 보리 / 포도 / 뿌리 ④ 소리 / 쓰다
- ⑤ 자다 / 차다 / 짜다 ⑥ 기다 / 키우다 / 끼다
- ⑦ 비다 / 피다 / 빼다

◆練習2：子音+母音を組み合わせ空欄に文字を書き入れましょう。
 激音、濃音を区別し繰り返し音読しましょう。

母音 子音	ㅏ α	ㅑ φα	ㅓ λ	ㅕ φλ	ㅗ o	ㅛ φo	ㅜ u	ㅠ φu	ㅡ w	ㅣ i
ㅈ τΣ ^h										치
ㅋ κ ^h									크	
ㅌ τ ^h								튜		
ㅍ π ^h							푸			
ㅎ η						효				
ㄱ κ'					꼬					
ㄷ τ'				떠						
ㅂ π'			뼈							
ㅅ σ', Σ'		샤								
ㅆ τΣ'	짜									



★練習問題：次の単語を読みましょう。

① 에	차 (お茶・車) 기차 (汽車) 치마 (スカート) 차다 (冷たい・蹴る)
② ㅋ	커피 (コーヒー) 코 (鼻) 코끼리 (象) 켜다 (ともす) 스키 (スキー)
③ ㅌ	토기 (土器) 토지 (土地)
④ ㅍ	파 (ネギ) 피 (血) 포도 (ぶどう) 차표 (切符) 피아노 (ピアノ)
⑤ ㅎ	하나 (ひとつ) 하다 (する・行う) 하기 (下記・夏期) 호수 (湖水・湖)
⑥ ㄱ	가까이 (近く) 까치 (かささぎ) 꼬리 (しっぽ) 끄다 (消す)
⑦ ㄷ	뜨다 (浮かぶ) 따르다 (従う) 허리띠 (ベルト)
⑧ ㅁ	뿌리 (根・根っこ) 뼈 (骨) 아빠 (お父ちゃん・パパ) 바쁘다 (忙しい)
⑨ ㅂ	싸우다 (闘う) 쓰다 (書く、被る、使う) 씨 (種、氏) 쓰리다 (ひりひり痛む)
⑩ ㅅ	짜다 (しょっぱい、組む) 찌다 (蒸す) 찌르다 (刺す)

練習問題のカタカナ表記

- ① 에 チャ キチャ チマ チャダ
- ② ㅋ コピ コ コキリ キョダ スキ
- ③ ㅌ トギ トジ
- ④ ㅍ パ ピ 포드 チャピョ ピアノ
- ⑤ ㅎ ハナ ハダ ハギ 호스
- ⑥ ㄱ カカイ カ치 コ리 ク다
- ⑦ ㄷ 툄다 톄르다 호리테이
- ⑧ ㅁ 뿌리 피ョ 아파 파쁘다
- ⑨ ㅂ 싸우다 슄다 시 슄리다
- ⑩ ㅅ 찌다 찌다 찌르다

★会話3 「趣味」(ルビを見ながら音読しましょう)

・저는 축구를 합니다.

私はサッカーをします。

・저는 배구를 좋아합니다.

私はバレーボールが好きです。

・저는 테니스를 칩니다.

私はテニスをします。

・저는 농< 롱 >구를 잘 합니다.

私はバスケットが得意です。

・나는 지금은 서예를 좋아해요.

私は今は書道が好きです。

・나는 독서를 좋아해요.

私は読書が好きです。

★復習

①空欄を基本母音の順番どおりに書いて暗誦しましょう。

차				초					
하								흐	
따		떠							
싸									씨

②練習問題の単語を3回書きましょう。

下の表に入っていない単語は、ノートで練習して下さい。

차 (お茶・車)			
커피 (コーヒー)			
토기 (土器)			
파 (ネギ)			
하나 (ひとつ)			
가까이 (近く)			
뜨다 (浮かぶ)			
뿌리 (根・根っこ)			
싸우다 (闘う)			
짜다 (しょっぱい、組む)			

練習用 ^{カタカナ}가가表① フリガナを見ないで発音してみましょう。

母音 子音	ㄱ α	ㅋ φα	ㆁ χ	ㆁ φχ	ㅇ o	ㆁ φo	ㄷ u	ㅌ φu	ㅡ w	ㅣ i
ㄱ k, γ	가	까	거	껴	고	교	구	규	그	기
ㄴ v	나	냐	너	녀	노	뇨	누	뉴	느	니
ㄷ τ, δ	다	따	더	더	도	도	두	두	드	디
ㄹ ρ, λ	라	랴	러	려	로	료	루	류	르	리
ㅁ μ	마	먀	머	며	모	묘	무	뮤	므	미
ㅂ π, β	바	뵤	버	벼	보	뵤	부	뷰	브	비
ㅅ σ	사	샤	서	셔	소	쇼	수	슈	스	시
ㅇ 無音	아	야	어	여	오	요	우	유	으	이
ㅈ τΣ, δθ	자	쟈	저	져	조	조	주	쥬	즈	지
ㅊ τΣ ^h	차	챤	처	쳐	초	초	추	츄	츠	치
ㅋ k ^h	카	카	커	켜	코	쿄	쿠	큐	크	키
ㅌ τ ^h	타	타	터	터	토	토포	투	투	트	티
ㅍ π ^h	파	파	퍼	펴	포	포	푸	퓨	프	피
ㅎ η	하	햤	허	혀	호	효	후	휴	흐	히
ㄱ k□	까	까	꺼	껴	꼬	쿄	꾸	큐	끄	끼
ㄷ τ□	따	따	더	더	또	또	뚜	뚜	뜨	띠
ㅂ π□	뵤	뵤	버	벼	뵤	뵤	부	뷰	브	뵤
ㅅ σ□, Σ□	싸	샤	써	셔	쏘	쇼	쑤	슈	쓰	씨
ㅈ τΣ□	짜	쟤	저	져	조	조	쑤	쥬	즈	찌

練習用 가가^{カギキコ} ② 母音と子音を組み合わせて、가가^{カギキコ}を作しましょう。

母音 子音	ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ
ㄱ										
ㄴ										
ㄷ										
ㄹ										
ㄱ										
ㅋ										
ㆁ										
ㅇ										
ㅈ										
ㅊ										
ㅋ										
ㅌ										
ㅍ										
ㅎ										
ㄱ										
ㄷ										
ㅂ										
ㅅ										
ㅆ										

◆◆ 第4課 母音(2) 合成母音 ◆◆

●合成母音

第1課で母音 21 個のうち、基本母音の 10 個を学びました。日本語の基本母音は「あいうえお」、二重母音は「や、ゆ、よ、わ、を」です。「あいうえお」を、ウリマルの基本母音で表すと「아아 이이 우／으우 오오」となります。「え」애はウリマルでは合成母音です。



合成母音

§ 合成母音：11 個 声を出し 3 回以上読んで暗誦してください。

ㅐ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅞ	ㅟ	ㅡ
え	いえ	え	いえ	うあ	うえ	うえ	うお	うえ	うい	うい

※下線の発音は、発声する唇の形や音は、日本語の音と少し異なります。

文字	文字の成り立ち	発音の要領
ㅐ	ㅏ + ㅣ	口を大きく開けて「エ」
ㅑ	ㅑ + ㅣ	口を大きく開けて「イエ」
ㅓ	ㅓ + ㅣ	日本語の「エ」とほぼ同じ
ㅕ	ㅕ + ㅣ	「ㅐ」より小さな口で「イエ」
ㅗ	ㅗ + ㅏ	「ワ」に近い音。「ㅗ」と「ㅏ」を続けて発音
ㅛ	ㅗ + ㅑ	口を開き気味にして「ウエ」。「ㅗ」と「ㅑ」を続けて発音
ㅜ	ㅜ + ㅣ	日本語と同じように「ウエ」
ㅠ	ㅠ + ㅏ	唇を突き出して「ウオ」
ㅞ	ㅠ + ㅓ	唇を突き出して「ウエ」
ㅟ	ㅠ + ㅣ	唇を突き出して「ウイ」
ㅡ	ㅡ + ㅣ	唇を横に引いて「ウイ」。「ㅡ」と「ㅣ」を続けて発音

§ 子音の「ㅇ」に母音の「ㅐ」を組み合わせ、文字「애」「え」となります。

애	애	애	애	와	왜	외	위	웨	위	외
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

合成母音の発音を覚えるには、合成母音の入った単語から習うと効果的です。

合成母音の文字

母音 子音	ㅛ (Y)	ㅟ (φY)	ㅓ (ε)	ㅕ (φε)	ㅜ (ωα)	ㅞ (ωY)	ㅝ (we)	ㅟ (ωχ)	ㅠ (ωε)	ㅡ (ωι)	ㅣ (ω)
ㄱ (κ)	개	꺨	계	꺼	과	꺼	괴	꺼	꺼	꺼	꺼
ㄴ (ν)	내		네	꺼	나		뇌	꺼	꺼	꺼	꺼
ㄷ (τ)	대		테	꺼	다	꺼	되	꺼	꺼	꺼	꺼
ㄹ (ρ)	래		레	꺼	라		뢰	꺼	꺼	꺼	
ㅁ (μ)	매		메	꺼	마		뫼	꺼	꺼	꺼	
ㅂ (π)	배		베	꺼	바	꺼	뫼	꺼	꺼	꺼	
ㅅ (σ)	새	꺼	세	꺼	사	꺼	꺼	꺼	꺼	꺼	
ㅇ (—)	애	꺼	예	꺼	와	꺼	꺼	꺼	꺼	꺼	꺼
ㅈ (τΣ)	재	꺼	제	꺼	좌	꺼	꺼	꺼	꺼	꺼	
ㅊ (τΣ ^h)	채		체	꺼	차		꺼	꺼	꺼	꺼	
ㅋ (κ ^h)	캐		케	꺼	카	꺼	꺼	꺼	꺼	꺼	
ㅌ (τ ^h)	태		테	꺼	타	꺼	꺼	꺼	꺼	꺼	
ㅍ (π ^h)	패		페	꺼	파		꺼	꺼		꺼	
ㅎ (η)	해		헤	꺼	하	꺼	꺼	꺼	꺼	꺼	꺼
ㄱㅛ (κ□)	꺼		꺼	꺼	꺼	꺼	꺼	꺼	꺼	꺼	
ㄷㅛ (τ□)	꺼		꺼		꺼	꺼	꺼		꺼	꺼	
ㅂㅛ (π□)	꺼		꺼				꺼				
ㅅㅛ (σ□)	꺼		꺼		꺼	꺼	꺼	꺼	꺼	꺼	꺼
ㅈㅛ (τΣ□)	꺼		꺼		꺼	꺼	꺼	꺼		꺼	

※空欄は通常使われない組み合わせです。

★練習問題：前ページの表を見ながら次の単語を読みましょう。

下のカタカナ表記を参考にして練習してください。

①	ㅈ	교재 (教材) 개미 (蟻) 매미 (せみ) 배치 (配置) 어깨 (肩) 재래 (在来) 태도 (態度) 해 (太陽)
②	ㅈ	얘기 (話)
③	ㅊ	네 (はい) 게시 (揭示) 그네 (ぶらんこ) 메뉴 (メニュー) 쓰레기 (ごみ) 제도 (制度) 제비 (つばめ) 제시 (提示) 체계 (体系)
④	ㅊ	예 (はい) 시계 (時計) 예<례>절 (礼節)
⑤	ㅊ	과실 (果実) 과제 (課題) 좌우 (左右) 효과 (効果) 화초 (花草)
⑥	ㅊ	왜 (なぜ) 돼지 (ぶた)
⑦	ㅊ	소외 (疎外) 회사 (会社) 후회 (後悔)
⑧	ㅊ	그리워하다 (懐かしむ、慕う)
⑨	ㅊ	궤도 (軌道)
⑩	ㅊ	귀 (耳) 뒤 (後ろ、のち) 위치 (位置) 쥐 (ねずみ) 까마귀 (からす)
⑪	ㅊ	의도 (意図) 의미 (意味) 의사 (医者) 의무 (義務) 의자 (椅子) 희다 (白い)

練習問題のカタカナ表記

- ① ㅈ キョジェ ケミ メ미 पेच ओके चेरे टेद हे
 ② ㅈ イェギ
 ③ ㅊ 네 케시 クネ 메뉴 슬레기 চে드 চে비 চে시 চে게
 ④ ㅊ イェ シ게 イェじョル (레じョ르)
 ⑤ ㅊ 쿼실 쿼제 차우 히ョク아 ファチョ
 ⑥ ㅊ 웨 투에지
 ⑦ ㅊ 소웨 푸에사 푸페
 ⑧ ㅊ 크리우오하다
 ⑨ ㅊ 궤도
 ⑩ ㅊ 귀 투이 위치 치이 카마그이
 ⑪ ㅊ 위드 위미 위사 위ム 위지야 히다

★会話4 「感謝・おわび」(ルビを見ながら音読しましょう)

コ マ ッ プ ス ム ニ ダ
고맙습니다.

ありがとうございます。

チ ョ ン マ ル コ マ ワ ヨ
정말 고마워요.

本当にありがとう。

テ ダ ニ カ ム サ ハ ム ニ ダ
대단히 감사합니다.

どうもありがとうございます。

ス ゴ ハ シ ム ニ ダ
수고하십니다.

ごくろうさま。

ミ ア ナ ム ニ ダ
미안합니다.

すみません。

チ ョ ソ ン ハ ム ニ ダ
죄송합니다.

申し訳ありません。

シ ル レ ハ ム ニ ダ
실례합니다.

失礼いたします。

シ ル レ ヘ ッ ソ ヨ
실례했어요.

失礼しました。

★復習

①子音ㄱ、ㄴ、ㄷ、ㄹ、ㅁ、ㅂ、ㅅ、ㅇ、ㅈに、合成母音11を組み合わせて書きながら、発音しましょう。

母音 子音	ㅏ (Y)	ㅑ (φY)	ㅓ (ε)	ㅕ (φε)	ㅗ (ωα)	ㅛ (ωY)	ㅜ (we)	ㅠ (ωχ)	ㅝ (ωε)	ㅠ (ωι)	ㅡ (w)
ㄱ (κ)											
ㄴ (ν)		—				—					
ㄷ (τ)		—									
ㄹ (ρ)		—				—					—
ㅁ (μ)		—				—					—
ㅂ (π)		—									—
ㅅ (σ)											—
ㅇ (—)											
ㅈ (τΣ)											—

②練習問題の単語を3回書いて音読しましょう。

下の表に入っていない単語は、ノートで練習して下さい。

교재 (教材)			
얘기 (話)			
네 (はい)			
예 (はい)			
과실 (果実)			
왜 (なぜ)			
소외 (疎外)			
그리워하다 (懐かしむ、慕う)			
궤도 (軌道)			
귀 (耳)			
의도 (意図)			

例 : 약 (藥) 야+ㄱ (ヤ+ク) =약 (ヤックというつもりでクを発音しない)

산 (山) 사+ㄴ (サ+ン) =산 (サンヌというつもりでヌを発音しない)

밭 (畑) 바+ㅍ (パ+ッ) =밭 (パットというつもりでトを発音しない)

달 (月) 다+ㄹ (タ+ル) =달 (ㄹは舌を上あごに軽くつけたまま発音する)

봄 (春) 보+ㅁ (ボ+ム) =봄 (ムは唇を閉じたまま発音する)

집 (家) 지+ㅍ (チ+プ) =집 (チップというつもりでプは唇を閉じたまま)

강 (川) 가+ㅇ (カ+ン) =강 (カングというつもりでグを発音しない)

* 바+ㅍ=밭 치+ㅁ=침 ⇒ 받침 (パッチム)

2) 母音の前のパッチム

母音の前のパッチムは初声 (通常の子音) のように発音されます。この場合は元の綴りの音が発音されます。

例 : 약은 [야근] 산은 [사는] 밭은 [바튼] (*바든ではない)

앞이 [아피] 옷이 [오시] 밖이 [바끼] 낮에 [나제]

꽃을 [꼬출] 마음을 [마으믈] 밥이 [바비]

통일을 [통이를]

★練習問題：次の単語を発音してみましょう

①	역 (駅) 부엌 (台所) 남쪽 (南方) 북쪽 (北方)
②	돈 (お金) 산천 (山川) 현관 (玄関)
③	곧 (すぐに) 밭 (畑) 옷 (服) 낮 (昼) 꽃 (花)
④	쌀 (米) 나물 (ナムル)
⑤	마음 (心) 사람 (人間・人) 가야금 (伽倻琴) 힘 (力)
⑥	밥 (ごはん) 앞 (前) 입 (口) 잎 (葉)
⑦	고향 (故郷) 강산 (江山) 통일 (統一) 사랑 (愛)

練習問題の読み方のカタカナ表記

- ① ヨッ プオッ ナムチョッ プッチョッ
- ② トン サンチョン ヒョングァン
- ③ コッ パッ オッ ナッ コッ
- ④ サル ナムル
- ⑤ 마움 사라ム 카야그ム 힘ム
- ⑥ 파쯔 앓쯔 이쯔 이쯔
- ⑦ 코حيان 칸산 톤일 사라ん

★会話5 「食事」(ルビを見ながら音読しましょう)

シツサハロ カブシダ
식사하러 갑시다.

食事に行きましょう。

カルビルル モッコ シップ스ムニダ
갈비를 먹고 싶습니다.

カルビが食べたいです。

カルビウワ ナムルル チュセヨ
갈비와 나물을 주세요.

カルビとナムルを下さい。

アジュ マシ イッ스ムニダ
아주 맛이 있습니다.

とてもおいしいです。

チャル モッケッ스ムニダ
잘 먹겠습니다.

いただきます。

チャル モゴッ스ムニダ
잘 먹었습니다.

ごちそうさまでした。

★復習：練習問題の単語を書き取り、発音しましょう。

下の表に入っていない単語は、ノートで練習して下さい。

①	역 (駅)			
②	돈 (お金)			
③	곧 (すぐに)			
④	쌀 (米)			
⑤	마음 (心)			
⑥	밥 (ごはん)			
⑦	고향 (故郷)			

③ **ㄹ** 例：넓다 (広い) 밟다 (踏む)

(1) 母音音節が続くとき

ㄹはパッチムとしてそのまま読み、ㅁは次の音節の初声として読みます。

넓어 [= 널버] 밟아 [= 발바]

(2) 子音が続くとき

※넓다 [= 널따] 넓고 [= 널꼬]

※밟다 [= 밟따] 밟고 [= 밟꼬]

④ **ㄹ** 例：젊다 [젊따] (若い)

(1) 母音音節が続くとき

ㄹをパッチムとしてそのまま読み、ㄹを次の音節の初声として読みます。

젊어 [= 절머] 젊어요 [= 절머요]

(2) 子音が続くとき

第一音ㄹを読まないで、第2音のㄹをパッチムとして読みます。次の音節の初声は濃音にして読みます。

젊다 [= 젊따] 젊고 [= 젊꼬]

⑤ **ㄹ** ㄹパッチムと同じように読みます。例：읽다 [익따] (読む)

(1) 읽어 [= 일거] 읽어요 [= 일거요]

(2) 子音が続くとき

第一音ㄹを読まないで、第二音ㄱをパッチムとして読みます。次の音節の初声は濃音にして読みます。

읽는다 [= 익는다 = 잉는다] 읽지 [= 익찌]

⑥ **ㄹㅎ** 例：싫다 [실타] (嫌いだ)

(1) 母音音節が続くとき

第二音ㅎは発音しません。第一音ㄹは次の母音に移ります。

싫어 [= 시러] 싫어요 [= 시러요]

(2) 子音が続くとき

第1音ㄹをパッチムとして読みます。第2音ㅎは次に続く子音ㄱ, ㄷ, ㄷ, ㅌ, ㅍ, ㅍ, ㅍ音として読みます。

싫다 [= 실타] 싫고 [= 실꼬]

⑦ **ㄹ** 받침と同じように読みます。例：많다 [만타] (多い)

(1) 母音音節が続くとき

第二音ㅎは発音しません。第一音ㄹは次の母音に移ります

많아 [= 만하 = 마나] 많아요 [= 만하요 = 마나요]

(2) 子音が続くとき 第1音ㄹをパッチムとして読みます。第2音ㅎは次に続く子音ㄱ, ㄷ, ㄷ, ㅌ, ㅍ, ㅍ, ㅍ音として読みます。

많다 [만타]

このほかに **ㄱ ㄷ ㄷ ㅌ ㅍ** があり、全部で11種類です。

発音は次のように整理されます。

発音する方のパッチム	パッチムの種類	例
1) ㄱ [k]	ㄱ ㄷ	넋 (魂) 닭 (鶏)
2) ㄴ [n]	ㄴ ㄹ	앉다 (座る) 많다(多い)
3) ㄷ [l]	래 ㄷ 래 ㄹ	여덟 (八つ) 굽 (水路) 핥다 (なめる) 싫다(嫌だ)
4) ㅁ [m]	ㅁ	삶 (生)
5) ㅂ [b]	ㅂ ㄷ ㅂ ㄹ	값 (値段) 읊다 (詠む)

★練習問題：発音してみましょう。

- ① 삶 ② 앉다 ③ 여덟 ④ 굽 ⑤ 핥다
 ⑥ 읊다 ⑦ 밟다 ⑧ 읽다 ⑨ 삶 ⑩ 읊다
 ⑪ 읽고 ⑫ 많다 ⑬ 싫다

練習問題の読み方（この課からカタカナ表記はありません）

- | | | |
|----------------|-------------|---------------|
| ① 샅〔삭〕賃金 | ② 앉다〔안따〕座る | ③ 여덟〔여덜〕八、やっつ |
| ④ 굽〔굴〕水路 | ⑤ 핥다〔할따〕なめる | ⑥ 없다〔업따〕ない |
| ⑦ 밟다〔밥따〕踏む | ⑧ 읽다〔익따〕読む | ⑨ 삼〔삼〕生 |
| ⑩ 읊다〔읍따〕詠じる | ⑪ 읽고〔일꼬〕読んで | ⑫ 많다〔만타〕多い |
| ⑬ 싫다〔실타〕嫌い、いやだ | | |

★復習：下の例文①～⑦を書いて音読しましょう。

① **하** 자리에 앉습니다.
席に座ります。

② **바** 의자가 없습니다.
椅子がありません。

③ **래** 방이 넓습니다.
部屋が広いです。

④ **리** 나이가 젊습니다.
年齢が若いです。

⑤ **리** 신문을 읽습니다.
新聞を読みます。

⑥ **러** 읽기가 싫습니다.
読むのが嫌いです。

⑦ **러** 사람이 많습니다.
人が多いです。

◆◆ 第7課 さまざまな発音 ◆◆

●文字のとおりには読まない場合

ハングルの表記どおりでない読み方をする場合がいくつかあります。ここでは連音化、激音化、濃音化、鼻音化の規則を学びます。



1) 連音化

パッチムの次に母音が続くと、パッチムは次の初声として発音されます。
(第5課参照)

◆練習1：次の単語は、[] のように発音されます。
繰り返し音読しましょう。

발음 [바름] (発音)	철학 [처락] (哲学)
조선어 [조서너] (朝鮮語)	한국어 [한구거] (韓国語)
음악 [으막] (音楽)	책꽂이 [책꼬지] (本棚)
젊은이 [절므니] (若い人)	전화 [저놌] (電話)
문학 [무낙] (文学)	천천히 [천처니] (ゆっくり)

※パッチムㅎの次に子音ㅇが続くと、“ㅎ”はふつう発音されなくなります。
例: 좋은[조은](良い) 좋아요 [조아요] (いいです) 싫어요 [시러요] (いやです)
 좋아하다 [조아하다] (好きだ) 싫어하다 [시러하다] (嫌いだ)

2) 激音化

ㄱ、ㄷ、ㅂ、ㅅ、ㅎ、ㄴㅎ、ㄹㅎなどのパッチムの次に子音が続くと、それぞれの激音ㅋ、ㅌ、ㅍ、ㅊなどと発音されます。

- ◆練習2：次の単語は、[] のように発音されます。
繰り返し音読しましょう。

축하 [추카] (祝賀)	입학 [이팍] (入学)
놓다 [노타] (置く)	많다 [만타] (多い)
좋다 [조타] (良い)	싫다 [실타] (いやだ)
착하다 [차카다] (善良だ)	곱하기 [고파기] (掛け算)
따뜻하다 [따뜨타다] (暖かい)	잊혀지다 [이쳐지다] (忘れられる)
깨끗하다 [깨끄타다] (清潔だ)	똑똑해요 [똑또캐요] (賢いです)
비슷해요 [비스태요] (似ています)	앉히다 [안치다] (座らせる)

3) 濃音化

ㄱ、ㄷ、ㅂ、ㅅなどのパッチムの次に子音が続くと、その子音は濃音として発音されます。

◆練習3：次の単語は、[] のように発音されます。
繰り返し音読しましょう。

악기 [악끼] (樂器)	약속 [약쑉] (約束)
국제 [국쑈] (国際)	걱정 [걱쑈] (心配)
어렵다 [어렵따] (難しい)	떡국 [떡꺅] 톡국 (雜煮)
국밥 [국뺨] (クッパ)	먹자 [먹짜] (食べよう)



4) 鼻音化

①ㄱ、ㄷ、ㅈのパッチムの次にㄴ・ㄹ・ㄴ가くると、ㄱ・ㄷ・ㅈはそれぞれㅇ・ㄴ・ㄴの鼻音に変わります。

◆練習4：次の単語は、[] のように発音されます。
繰り返し音読しましょう。

ㄱ + ㄴ ⇒ ㅇ + ㄴ	작년 [장년] (昨年)
ㄱ + ㄹ ⇒ (ㅇ + ㄹ) ⇒ ㅇ + ㄴ	독립 [동립] (独立) ※
ㄱ + ㄴ ⇒ ㅇ + ㄴ	한국말 [한궁말] (韓国語)
ㄷ + ㄴ ⇒ ㄴ + ㄴ	믿는다 [민는다] (信じる)
ㄷ + ㄹ ⇒ (ㄴ + ㄹ) ⇒ ㄴ + ㄴ	몇리 [면니] (何里) ※
ㄷ + ㄴ ⇒ ㄴ + ㄴ	낱말 [난말] (単語)
ㅈ + ㄴ ⇒ ㄴ + ㄴ	입니다 [임니다] (です)
ㅈ + ㄹ ⇒ (ㄴ + ㄹ) ⇒ ㄴ + ㄴ	합리 [함니] (合理) ※
ㅈ + ㄴ ⇒ ㄴ + ㄴ	십만 [심만] (十万)

②鼻音 ㅇ・ㅇの次に“ㄹ”がくると、この“ㄹ”は“ㄴ”になります。

ㅇ + ㄹ ⇒ ㅇ + ㄴ	심리 [심니] (心理) ※
ㅇ + ㄹ ⇒ ㅇ + ㄴ	승리 [승니] (勝利) ※

※朝鮮民主主義人民共和国では“ㄹ”はそのまま発音されるのが原則です。

例：독립[동립] (独立) 몇리[면리] (何里) 합리[합리] (合理)
 심리[심리] (心理) 승리[승리] (勝利)

家族・親戚



- * 女の子から兄さんや姉さんと呼ぶときは오빠・언니、男の子は형・누나と言います。
- * 외삼촌と이모は어머니のきょうだい、삼촌と고모は아버지의きょうだいです。
- * 외할아버지와 외할머니は母方の祖父母、할아버지와 할머니は父方の祖父母です。

姓氏について

わが国の姓氏はおよそ 300 あると言われていています。(日本には 10 万以上の名字があります。)

五大姓といわれる、金氏、李氏、朴氏、崔氏、鄭氏で半数を占めています。

十大姓の本貫(始祖の出身地、氏族発祥の地)は、金氏 285、李氏 241、朴氏 128、崔氏 127、鄭氏 122、姜氏 33、趙氏 56、尹氏 44、張氏 63、林氏 60 あり、わが国の姓氏はすべて本貫があります。現在も本貫を姓名の前につけて、金海金氏、金光金氏、安東金氏と名乗ることが多く、始祖の地縁、血縁を大切にしています。

わが国は 1910 年から 1945 年 8 月 15 日までの 36 年間、日本の植民地でした。1939 年、「朝鮮民事令改正」という形で創氏改名が公布され、翌年 2 月から施行されましたが、解放後はただちに本名を取り戻しました。

金 (김 キム)	李 (이・イ) <리・リ>	朴 (박 パク)
崔 (최 チェ)	鄭 (정 チョン)	趙 (조 チョ)
姜 (강 カン)	張 (장 チャン)	韓 (한 ハン)
尹 (윤 ユン)	吳 (오 オ)	林 (임・イム) <림・リム>
申 (신 シン)	安 (안 アン)	宋 (송 ソン)
徐 (서 ソ)	黃 (황 ファン)	洪 (홍 ホン)
全 (전 チョン)	權 (권 クォン)	柳 (유・ユ) <류・リュ>
高 (고 コ)	文 (문 ムン)	白 (백 ペク)
孫 (손 ソン)	許 (허 ホ)	劉 (유・ユ) <류・リュ>
末 (말 マル)	沈 (심 シム)	梁 (양・ヤン) <량・リヤン>
車 (차 チャ)	南 (남 ナム)	盧 (노・ノ) <로・ロ>
康 (강 カン)	田 (전 チョン)	裴・裴 (배 ペ)
任 (임 イム)	河 (하 ハ)	郭 (곽 クワック)
禹 (우 ウ)	丁 (정 チョン)	羅 (나・ナ) <라・ラ>
池 (지 チ)	元 (원 ウォン)	閔 (민 ミン)
具 (구 ク)	嚴 (엄 オム)	方 (방 パン)
成 (성 ソン)	辛 (신 シン)	兪 (유 ユ)
蔡 (채 チェ)	玄 (현 ヒョン)	陳 (진 チン)
咸 (함 ハム)	邊 (변 ピョン)	千 (천 チョン)
楊 (양 ヤン)	孔 (공 コン)	廉 (염・ヨム) <렴・リヨム>
吉 (길 キル)	石 (석 ソク)	呂 (여・ヨ) <려・リヨ>
卞 (변 ピョン)	秋 (추 チュ)	魯 (노・ノ) <로・ロ>
都 (도 ト)	馬 (마 マ)	慎 (신 シン)

品詞について

I章では、文字と発音を学習しました。

II章では、基本的な文型と単文を学習します。

基本的な文型では、助詞の使い方、動詞、形容詞の語尾変化などについて学びます。

우리말 (国語) の品詞には11種類あります。

[品詞]

名詞、**代名詞**、**数詞**には活用がありません。⇒「体言」

動詞、**形容詞**、**存在詞**、**指定詞**には活用(過去形、現在形、意志・推量形、連体形、連用形など)があります。⇒「用言」

副詞、**感動詞**、**接続詞**、**助詞**には活用がありません。

単語の例)

体言	名詞 : 책(本)、학교(学校), 나라(国)...
	代名詞 : 나(僕、わたし)、당신(あなた)、우리(わたしたち)...
	数詞 : 일(1)、이(2)、하나(ひとつ), 둘(ふたつ)...
用言	動詞 : ~하다(~する)、오다(来る)、먹다(食べる)...
	形容詞 : 크다(大きい)、싸다(安い)、많다(多い)...
	存在詞 : 있다(いる/ある)、없다(いない/ない)
	指定詞 : ~이다(~だ)、~아니다(~ではない)
副詞 : 어서(早く、さあ)、感動詞 : 아이고(あら、ああ)、	
接続詞 : 그리고(そして)、助詞 : ~는/은(~は)、~가/이(~が)	

原形 : 辞書に載っている形(辞書の見出し語)を「原形」または「基本形」、「辞書形」といいます。用言の原形は「~다」で終わり、原形から「~다」を除いた部分を「語幹」といいます。

用言の原形=語幹+다

語幹には大きくわけて母音語幹と子音語幹とがありますが、子音語幹のうち「ㄹ(리을)」で終わる語幹は変則的な活用をすることが多いので、普通の子音語幹とは別途にㄹ語幹とします。

- ・母音語幹(語幹が母音で終わる) : 가다(行く)、크다(大きい)...
- ・子音語幹(語幹が子音で終わる) : 먹다(食べる)、덥다(暑い)...
- ・ㄹ語幹 : 알다(知る)、길다(長い)...

※用言の変格活用については、このテキストを終え次のステップで徐々に学んで下さい。

◆◆ 第8課 저는 대학생입니다. ◆◆

私は 大学生です。

8-1) 저는 대학생입니다.

私は 大学生 です。

8-2) 남동생은 대학생이 아닙니다.

弟 は 大学生では ありません。

発音 : 대학생 [대학쌩] 입니다 [임니다] 아닙니다 [아닙니다]

8-1) 저는 대학생입니다. 私は大学生です。

●助詞 : ~는/은 主語をあらわす助詞「~は」

ㄱ) 母音で終わる単語 ⇒ 는

나는 (わたしは) 아버지는 (父は) 아이는 (こどもは) 지도는 (地図は)

ㄴ) 子音で終わる単語 ⇒ 은

여<녀>동생은 (妹は) 이름은 (名前は) 고향은 (故郷は)

●입니다 (~です) 原形 : 이다 (~だ、~である)

－입니다は体言につき述語の役割をします。

저는 대학생입니다. 私は大学生です。

여<녀>동생은 중학생입니다. 妹は中学生です。

－疑問形は입니까? (~ですか?)

영희 씨는 가수입니까? ヨンヒさんは歌手ですか?

※ ~씨 (~さん) は、目上の方には使いません。

어머니는 의사가 아닙니까? お母さんは医者ではありませんか?

◆練習：下記の (A) (B) を入れ替えて練習しましょう。

1. (A) 는 (B) 입니다.

⇒例：여기(ここ) 는 도서관(図書館)입니다.

(A) : 나(わたし), 저(わたくし), 여기(ここ)

(B) : 캐나다사람(カナダ人) 학생(学生) 스무살(二十歳)
식당(食堂) 도서관(図書館) 미술관(美術館) 공항(空港)
박물관 [박물관] (博物館)

2. (A) 은 (B) 입니다.

⇒例：오늘(今日) 은 월요일(月曜日) 입니다.

(A) : 이것(これ) 저것(あれ) 오늘(今日) 내<래>일(明日)

(B) : 책(本) 시계(時計) 전화(電話) 가방(カバン)
편지(手紙) 기차(汽車) 컴퓨터(コンピュータ) 월요일(月曜日)
화요일(火曜日) 수요일(水曜日) 목요일(木曜日)

3. (A) 는/은 (B) 입니까?

(A) : 나(わたし), 저(わたくし), 여기(ここ) 그것(それ)
내일(明日)

(B) : 회사원(会社員) 의사(医者) 우산(傘) 연필(鉛筆)
동물원(動物園) 공항(空港) 금요일(金曜日)
토요일(土曜日) 일요일(日曜日)

8-2) 남동생은 대학생이 아닙니다. 弟は大学生ではありません。

●助詞 : ~가/이 「~が」

교사가 (教師가) 여<녀>동생이 (妹가)

●아닙니다 (ちがいます) 原形 : 아니다 (ちがう、ことなる)

●~가/이 아닙니다. (~ではありません)

名詞、代名詞などの体言を否定します。

ㄱ) 母音で終わる単語 ⇒ ~가 아닙니다.

~가 아닙니까?

저는 교수가 아닙니다.

私は教授ではありません。

기자가 아닙니까?

記者ではありませんか?

ㄴ) 子音で終わる単語 ⇒ ~이 아닙니다.

~이 아닙니까?

나는 회사원이 아닙니다.

私は会社員ではありません。

그는 은행원이 아닙니까?

彼女は銀行員ではありませんか?

◆練習 : 下記の (A) (B) を入れ替えて練習しましょう。

1. (A) 는/은 (B) 가 아닙니다. (~가 아닙니까?)

⇒例 : 여기는(ここは) 호수(湖) 가 아닙니다.

(A) : 나 (わたし) 그(彼・彼女) 여기(ここ) 그것(それ)

(B) : 기술자(技術者) 미국사람(アメリカ人) 대학로(大学通り)
학교(学校) 제주도(濟州道) 시계(時計) 구두(靴)
호수(湖) 사과(りんご) 의자(椅子) 회(さしみ)

2. (A) **는/은** (B) **이** **아닙니다.** (∼**이** **아닙니까?**)

⇒例 : 이것(これ)은 **귤(みかん)** 이 **아닙니까?**

(A) : 저 (私) 그(彼) 여기(ここ) 이것(これ)

(B) : 공무원(公務員) 간호원(看護婦) 시나가와역(品川駅)
시장(市場) 공원(公園) 백화점(百貨店) 장미꽃(ばら)
은행(銀行) 귤(みかん)

★問題 1 : (**는 은**) のうち正しい方に○をつけてください。

1. 저 (**는 은**) 한국사람/조선사람입니다.
2. 어머니 (**는 은**) 교사입니까?
3. 남동생 (**는 은**) 회사원입니다.
4. 영희씨 (**는 은**) 기술자입니다.
5. 삼촌 (**는 은**) 의사입니까?
6. 아버지 (**는 은**) 공무원입니다.
7. 그 (**는 은**) 기자입니다.

★問題 2 : (**가 이**) のうち正しい方に○をつけてください。

1. 저는 가수 (**가 이**) 아닙니다.
2. 그는 대학생 (**가 이**) 아닙니까?
3. 여기는 신주쿠역 (**가 이**) 아닙니다.
4. 남동생은 의사 (**가 이**) 아닙니다.
5. 영희씨는 간호원 (**가 이**) 아닙니까?
6. 고모는 공무원 (**가 이**) 아닙니다.
7. 그들은 미국사람 (**가 이**) 아닙니다.

☆問題の解答

- I. 1.는 2.는 3.은 4.는 5.은 6.는 7.는
II. 1.가 2.이 3.이 4.가 5.이 6.이 7.이

◆◆ 第9課 그것은 무엇입니까? ◆◆

それは なんですか?

9-1) 그것은 무엇입니까?

それは なんですか?

- 이것은 연필입니다.

これは 鉛筆です.

9-2) 여기는 어디입니까?

ここは どこですか?

- 여기는 학교입니다.

ここは 学校です.

9-3) 저것은 사과입니까?

あれは りんごですか?

- 네, 사과입니다.

はい, りんごです.

- 아니요, 사과가 아닙니다.

いいえ, りんごでは ありません.

発音 : 이것은 [이거슨] 저것은 [저거슨] 무엇입니까? [무어십니까?] [무어십니까?]
그것은 [그거슨] 연필입니다 [연필입니다]

9-1) 그것은 무엇입니까? それはなんですか?

- 이것은 연필입니다. これは鉛筆です.

●무엇입니까? (なんですか?)

—疑問詞には、このほかに누구 (だれ)、어디 (どこ)、언제 (いつ)、얼마 (どれほど) などが 있습니다.

누구 (だれ) ⇒ 누구입니까? だれですか?

어디 (どこ) ⇒ 어디입니까? どこですか?

언제 (いつ) ⇒ 언제입니까? いつですか?

얼마 (どれほど) ⇒ 얼마입니까? どれほどですか?

(おいくらですか?)

9-3) 저것은 사과입니까?	あれはりんごですか?
-네, 사과입니다.	はい, りんごです.
-아니요, 사과가 아닙니다.	いいえ, りんごではありません.

●네/예 (はい) 그렇습니다 (そうです) 原形: 그렇다 (そうである)

●아니요 (いいえ) 아닙니다 (ちがいます)

★問題 1 : () の中に [①는, ②은, ③무엇, ④어디, ⑤입니다, ⑥입니까] 를書き入れましょう。(番号でなく文字を書いてください。)

1. 이것은 무엇입니까? ⇒ 그것 () 책입니다.
2. 저것 () 무엇 ()? ⇒ 그것은 사과입니다.
3. 취미는 무엇입니까? ⇒ 취미 () 음악입니다.
4. 취미는 () 입니까? ⇒ 취미는 등산 () .
5. 고향은 어디입니까? ⇒ 고향 () 제주도 () .
6. 고향은 () 입니까? ⇒ 고향 () 개성입니다.
7. 저것 () 연필 () ?
8. 이것 () 책 () .

★問題 2 : () の中に [①네, ②아니요] 를書き入れましょう。(番号でなく文字を書いてください。)

1. 이것은 사전입니까? これは辞典ですか?
⇒ (), 사전입니다. はい, 辞典です.
2. 저것은 자전거입니까? あれは自転車ですか?
⇒ (), 자전거가 아닙니다. いいえ, 自転車ではありません.
3. 이것은 판다입니까? これはパンダですか?
⇒ (), 판다입니다. はい, パンダです.
4. 저것은 원숭이입니까? あれは猿ですか?
⇒ 아니요, 원숭이가 아닙니다. いいえ, 猿ではありません.
5. 이것은 자전거입니까? これは自転車ですか?
⇒ (), 자전거가 아닙니다. いいえ, 自転車ではありません.

問題の解答

- 問題 1 1. ② 2. ②⑥ 3. ① 4. ③⑤ 5. ②⑤ 6. ④② 7. ②⑥ 8. ②⑤
 問題 2 1. ① 2. ② 3. ① 4. ② 5. ②

◆◆ 第 10 課 학교는 나고야에 있습니다. ◆◆

学校は 名古屋に あります。

10-1) 학교는 나고야에 있습니다.

学校は 名古屋に あります。

10-2) 선생님은 영국에 계십니다.

先生は イギリスに いらっしゃいます。

10-3) 저는 국제 정치의 연구를 합니다.

私は 国際 政治の 研究を します。

発音 : 있습니다 [이씁니다] 계십니다 [계심니다] 합니다 [합니다]

10-1) 학교는 나고야에 있습니다. 学校は名古屋にあります。

● 있습니다 (あります、います) 原形 : 있다 (ある、いる)

● 助詞 : ~에 (~に、~へ) : (目的地の) 場所をあらわす助詞

산에 (山に) 강에 (川へ) 바다에 (海に) 해외에 (海外へ)

집은 어디에 있습니까? 家はどこにありますか?

집은 시마네에 있습니다. 家は島根にあります。

● 없습니다 [업씁니다] (ありません、いません)

原形 : 없다 (いない、ない)

집에는 고양이가 있습니까? 家には猫がいますか?

집에는 고양이가 없습니다. 家には猫はいません。



10-2) 김 선생님은 영국에 계십니다. 金先生はイギリスにいらっしゃいます。

● **계십니다** (いらっしゃいます) 原形: 계시다 (いらっしゃる)

日本語とことなり、家族、親戚などにも敬語を使います。

아버지는 회사에 계십니다. お父さんは会社にいらっしゃいます。

*日本語訳は「父は会社におります」

● **안 계십니다** (いらっしゃいません)

사장님은 회사에 안 계십니다. 社長は会社にいらっしゃいません。

교수님은 연구실에 안 계십니다. 教授は研究室にいらっしゃいません。

● **~님** (~様) 님을付けて尊敬の意味を表わす。

例: 선생 (先生) →선생님, 박사 (博士) →박사님,

사장 (社長) →사장님, 부모 (父母) →부모님

10-3) 저는 국제정치를 연구합니다. 私は国際政治を研究します。

● **助詞: ~를/을** (~を)

저를(私を) 책을(本を) 떡을(餅を)

ㄱ) 母音で終わる単語 ⇒ **를**

고기를(魚を) 구두를(靴を) 모자를(帽子を) 도구를(道具を)

ㄴ) 子音で終わる単語 ⇒ **을**

국을(スープを) 밥을(ご飯を) 옷을(服を) 책을(本を)

●母音語幹の動詞 ~를/을 ~합니다.

(~을 ~します・しています)

⇒우리 말을 공부합니다. 母国語を勉強します。

例) 사랑하다(愛する) : 사랑하+합니다 ⇒사랑합니다

-나는 형제를 사랑합니다. 私は兄弟を愛しています。

공부하다(勉強する) : 공부하+합니다 ⇒공부합니다

-우리는 독일어를 공부합니다. 私達はドイツ語を勉強します。

가다(行く) : 가+합니다 ⇒갑니다

-남동생은 바다에 갑니다. 弟は海に行きます。

쓰다(書く) : 쓰+합니다 ⇒씁니다

-여<녀>동생은 집에서 편지를 씁니다. 妹は家で手紙を書きます。

가르치다(教える) : 가르치+합니다 ⇒가르칩니다

-누나는 학교에서 영어를 가르칩니다. 姉は学校で英語を教えます。

●子音語幹の動詞 ~를/을 ~습니다.

(~을 ~します・しています)

⇒국어 교과서를 읽습니다. 国語の教科書を読みます。

例) 걷다(歩く) : 걷+습니다 ⇒걷습니다

-그는 산을 걷습니다. 彼は山を歩きます。

받다(もらう) : 받+습니다 ⇒받습니다

-언니는 기념사진을 받습니다. 姉は記念写真をもらいます。

먹다(食べる) : 먹+습니다 ⇒먹습니다

-저는 밥과 김치를 먹습니다. 私はごはんとキムチを食べます。

읽다(読む) : 읽+습니다 ⇒읽습니다

-남동생은 신문을 읽습니다. 弟は新聞を読みます。

★練習問題 1 : ①있습니다、②계십니다を書き入れましょう。

(番号でなく文字を書いてください。)

1. 동물원에 판다가 () . 動物園にパンダがいます。
2. 우리집에는 개가 () . 私の家に犬がいます。
3. 선생님은 집에 () . 先生は家においでです。
4. 책상에 교과서가 () . 机に教科書があります。
5. 김치가 많이 () . 김치가たくさんあります。
6. 최 교수님은 중국에 () . 崔教授は中国にいらっしゃいます。
7. 어머니는 할머니 집에 () . 母は祖母の家にあります。

(いらっしゃいます)

★練習問題 2 : 下線の動詞語幹に注意し「-ㅁ니다」または「-습니다」の丁寧形にしましょう。

1. 제 이름은 박성미이다.
⇒ _____ (私の名前はパクソンミです)
2. 나는 형제를 사랑하다.
⇒ _____ (私は兄弟を愛しています)
3. 남동생은 신문을 읽다.
⇒ _____ (弟は新聞を読みます)
4. 나는 하카타역까지 지하철을 타다.
⇒ _____ (私は博多駅まで地下鉄に乗ります)
5. 나는 다방에서 커피를 마시다.
⇒ _____ (私はカフェでコーヒーを飲みます)
6. 여<녀>동생은 친구에게 편지를 쓰다.
⇒ _____ (妹は友達に手紙を書きます)
7. 식당은 어디에 있다?
⇒ _____ (食堂はどこですか?)

練習問題の解答

練習問題 1 : 1. ① 2. ① 3. ② 4. ① 5. ① 6. ② 7. ②

練習問題 2 : 1. 박성미입니다. 2. 사랑합니다. 3. 읽습니다. 4. 탑니다.
5. 마십니다. 6. 씁니다. 7. 있습니까?

◆◆ 第 11 課 오늘은 날씨가 좋습니다. ◆◆

今日は 天気が 良いです。

1 1 - 1) 오늘은 날씨가 좋습니다.

今日は 天気が 良いです。

1 1 - 2) 나리꽃은 흰니까?

ユリの花は 白いですか?

発音 : 좋습니다 [조쌌니다] 흰니까? [힘니까?]

第 10 課で動詞の丁寧形「～합니다, ～습니다」(～します, ～しています) を習いました。

第 11 課では形容詞の丁寧形「～합니다, ～습니다」(～です) を習います。

1 1 - 1) 오늘은 날씨가 좋습니다.

今日は天気が良いです。

● 좋습니다 (良いです) 原形 : 좋다 (良い)

오늘은 기분이 좋습니다.

今日は気分が良いです。

우리나라 경치는 아주 좋습니다. わが国の景色は非常に良いです。

학교성적은 좋습니까?

学校の成績は良いですか?

● 子音語幹の形容詞 ～습니다. (～です)

例) 붉다 [북따] (赤い) : 붉+습니다 ⇒ 붉습니다

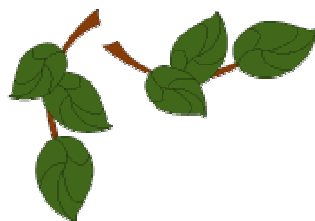
－진달래꽃은 붉습니다. つつじの花は赤いです。

－장미꽃은 붉습니까?バラの花は赤いですか?

노랑다 [노라타] (黄色い) : 노랑+습니다 ⇒ 노랑습니다

－개나리꽃은 노랑습니다. れんぎょうの花は黄色いです。

－유채꽃은 노랑습니까? 菜の花は黄色いですか?



1 1 - 2) 나리꽃은 흰니까?

ユリの花は白いですか。

● 흰니까? (白いですか?) 原形: 희다

● 母音語幹の形容詞 ~ㅁ니다. (~です)

例) 크다(大きい、背が高い) : 크+ㅁ니다 ⇒ 큼니다
- 그는 키가 큼니다. 彼は背が高いです。

시원하다(涼しい) : 시원하+ㅁ니다 ⇒ 시원합니다.
- 오늘은 바람이 시원합니다.今日は風が涼しいです。

★練習問題 1 : 下記の語句を「~는/은 ~습니다/~ㅁ니다」に書き替えます。

例) 극장 (劇場) / 크다 (大きい) ⇒ 극장은 큼니다. (劇場は大きいです)

1. 얼굴 (顔) / 예쁘다 (可愛い) ⇒ _____

2. 날씨 (天候) / 시원하다 (涼しい) ⇒ _____

3. 하늘 (空) / 푸르다 (青い) ⇒ _____

4. 국 (スープ) / 짜다 (しょっぱい) ⇒ _____

5. 옷 (服) / 노랗다 (黄色い) ⇒ _____

6. 책값 (本代) / 비싸다 (高い) ⇒ _____

7. 소리 (声) / 높다 (高い) ⇒ _____

8. 물건 (品物) / 싸다 (安い) ⇒ _____

9. 가격 (価格) / 같다 (同じ) ⇒ _____

10. 힘 (力) / 세다 (強い) ⇒ _____

★練習問題 2 : 下記の語句を「～が／이 ~습니까? / ~ですか?」に書き
替えましょう。

例) 산 (山) / 아름답다 (美しい) ⇒산이 아름답습니까?
(山が美しいですか?)

1. 독일어(ドイツ語) / 재미있다(面白い) ⇒ _____

2. 만화책(漫画) / 재미없다(面白くない) ⇒ _____

3. 방(部屋) / 좁다(狭い) ⇒ _____

4. 여름방학(夏休み) / 즐겁다(楽しい) ⇒ _____

5. 휴가(休暇) / 짧다(短い) ⇒ _____

6. 말(ことば) / 곱다(美しい) ⇒ _____

7. 고추(唐辛子) / 맵다(辛い) ⇒ _____

8. 도깨비(トッケビ = おばけ) / 무섭다(怖い) ⇒ _____

9. 키(背) / 작다(低い) ⇒ _____

10. 아기(赤ちゃん) / 귀엽다(可愛い) ⇒ _____

練習問題の解答

練習問題 1 : 1. 얼굴은 예쁩니다. 2. 날씨는 선선합니다. 3. 하늘은 푸릅니다.
4. 국은 짭니다. 5. 옷은 노랗습니다. 6. 책값은 비쌉니다.
7. 소리는 높습니다. 8. 물건은 싸입니다. 9. 가격은 같습니다.
10. 힘은 셉니다.

練習問題 2 : 1. 독일어가 재미있습니까? 2. 만화책이 재미없습니까?
3. 방이 좁습니까? 4. 여름방학이 즐겁습니까?
5. 휴가가 짧습니까? 6. 말이 곱습니까?
7. 고추가 맵습니까? 8. 도깨비가 무섭습니까?
9. 키가 작습니까? 10. 아기가 귀엽습니까?

◆◆ 第12課 数詞 ◆◆

数詞には「漢数詞」(いち、に、さん…)と
「固有数詞」(ひとつ、ふたつ、みっつ…)とがあります。

1) 漢数詞

「漢数詞」は、値段・時間の分・年月日等に使われます。
発音しながら下の枠に書いて練習しましょう。

1 일	2 이	3 삼	4 사	5 오	6 육 <small><륙></small>	7 칠	8 팔	9 구	10 십
百 백	千 천	万 만	億 억	兆 조					

2) 固有数詞

「固有数詞」(ひとつ、ふたつ、みっつ)は、個数・人数・時間等に使われます。

「固有数詞」1~4と20は、助数詞につくと2段目のように変化します。

下の枠に書いて練習しましょう。

1 하나 한	2 둘 두	3 셋 세·석	4 넷 네·녁	5 다섯
6 여섯	7 일곱	8 여덟	9 아홉	10 열

20 스물 스무	30 서른	40 마흔	50 쉰	60 예순	70 일흔	80 여든	90 아흔

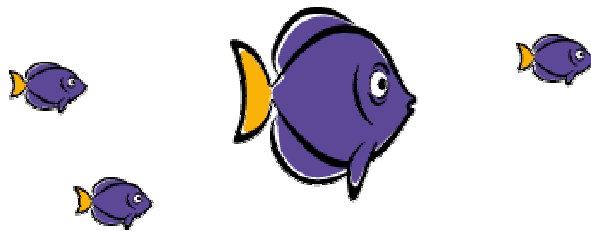
3) 助数詞

物を数えるとき「個、冊、枚、匹」のように「助数詞」が付きます。

例：연필(鉛筆) 한 자루 (1本) 소(牛) 세 마리 (3頭)
술(酒) 두 잔 (2杯) 책(本) 네 권 (4冊)
사과(りんご) 스무 개 (20個) 종이(紙) 넉 장 (4枚)

★練習問題 1 : 数字をハングルで書きなさい。

1. 500원 _____ 원
2. 1,200원 _____ 원
3. 26,000원 _____ 원
4. 1975年6月18日 _____ 년 _____ 월 _____ 일
5. 12時14分 _____ 시 _____ 분
6. 5個 _____ 개
7. 4名 _____ 명
8. 18歳 _____ 살



★練習問題 2 : 数字に注意してウリマルで読みましょう。

1.	오늘은 몇 월 며칠입니까? 4 월 17 일입니다.	今日は何月何日ですか? 4月17日です。
2.	지금 몇 시입니까? 5 시 20 분입니다.	今、何時ですか? 5時20分です。
3.	영호씨 생일은 언제입니까? 12 월 9 일생입니다.	ヨンホさん、誕生日はいつですか? 12月9日生まれです。
4.	몇 살입니까? 20 살입니다.	何歳ですか? はたちです。
5.	이것은 얼마입니까? 그것은 6,800 원입니다.	これはいくらですか? それは、6,800ウォンです。
6.	귤은 몇 개 있습니까? 그것은 3 개 있습니다.	みかんは何個ありますか? それは3個あります。

練習問題の解答

練習問題 1 : ①오백 ②천이백 ③이만 육<륙>천
 ④천 구백 칠십오 유<류> 십팔
 ⑤열두 십사 ⑥다섯 ⑦네 ⑧열여덟

練習問題 2 : 1. 사, 십칠 2. 다섯, 이십 3. 십이, 구
 4. 스무 5. 육<륙>천 팔백 6. 세

◆◆ 第 13 課 장학회로 전화했습니다. ◆◆

奨学会に 電話しました。

<p>13-1) 장학회로 전화했습니다. 奨学会に 電話 しました。</p>
<p>13-2) 작년 겨울은 추웠습니다. 去年の 冬は 寒かったです。</p>
<p>13-3) 내<래>일도 덥겠습니다. 明日も 暑そうです。</p>
<p>発音 : 장학회 [장하회] 했습니다 [해씀니다] 작년 [장년]</p>

13-1) 장학회로 전화했습니다. 奨学会に電話しました。

*전화했습니다 (電話しました) 原形 : 전화하다 (電話する)

13-2) 작년 겨울은 추웠습니다. 去年の冬は寒かったです。

*추웠습니다 (寒かったです) 原形 : 춥다 (寒い)

●用言の過去形

用言(動詞、形容詞、存在詞、指定詞)の語幹に「~았~、~였~」を付けると、過去または既成のものであることを表します。動詞「~하다」には「~였~」をつけます。

- ①陽語幹(最後の音節の母音がト, ㄷの語幹)には「~았~」、
- ②陰語幹(最後の音節の母音がト, ㄷ以外の語幹)には「~였~、~였~」
- ③「~하다語幹」には「~였~」をつけます。

区分	原形		語幹	過去形		~습니다の過去形	
①陽語幹	놀다	遊ぶ	놀	았	놀았다	았	놀았습니다
	작다	小さい	작		작았다		작았습니다
	사다	買う	사		사았다⇒샀다		샀습니다
	오다	来る	오		오았다⇒왔다		왔습니다

区分	原形		語幹	過去形		~습니다の過去形	
② 陰語幹	읽다	読む	읽	였	읽었다	였	읽었습니다
	적다	少ない	적		적었다		적었습니다
	주다	あげる	주		주었다/줬다		주었습니다 (줬습니다)
	배우다	習う	배우		배우었다⇒배웠다		배웠습니다
③ 하다用言	일하다	働く	일하	였	일하였다/일했다	였	일하였습니다 /일했습니다
	전화하다	電話する	전화하		전화하였다 /전화했다		전화하였습니다 /전화했습니다

* 보내다 (送る)、내다 (出す) の過去形⇒縮約形「~냈~」になります。

보내다	送る	보내	보내었다⇒보냈다	보냈습니다.
내다	出す	내	내었다⇒냈다	냈습니다.

★練習問題 1 : 過去形をつくりましょう。

例) 표를 사다 → 표를 샀습니다

1. 야구를 하다 → _____
2. 책을 읽다 → _____
3. 엽서를 보내다 → _____
4. 신문을 받다 → _____
5. 주소를 알다 → _____
6. 선물을 주다 → _____

13-3) 내<래>일도 덥겠습니다. 明日も暑そうです。

- *덥겠습니다 (暑そうです) 原形: 덥다 (暑い) ~推量をあらわす。
- *잘 먹겠습니다. (いただきます) ~意志をあらわす。
- 네, 하겠습니다. (はい、いたします) ~意志をあらわす。

●用言の意志・推量形

用言 (動詞、形容詞、存在詞、指定詞) の語幹に「~겠습니다」が接続すると、意志・推量を表します。

区分	原形		語幹	意志・推量形 ~겠습니다	
①陽語幹	놀다	遊ぶ	놀	놀겠습니다	遊ぶでしょう
	작다	小さい	작	작겠습니다	小さいでしょう
	사다	買う	사	사겠습니다	買います
	오다	来る	오	오겠습니다	来ます
②陰語幹	읽다	読む	읽	읽겠습니다	読みます
	적다	少ない	적	적겠습니다	少ないでしょう
	주다	あげる	주	주겠습니다	あげます
	배우다	習う	배우	배우겠습니다	習います
③하다用言	일하다	働く	일하	일하겠습니다	働きます
	전화하다	電話する	전화하	전화하겠습니다	電話します



★練習問題 2 : 下線を「~겠습니다」を使って書き替えましょう。

例) 저는 집에 있다. ⇒저는 집에 있겠습니다.

1. 아버지는 회사에 계시다. → _____

2. 교수님이 강연을 하시다. → _____

3. 우리 말을 공부하다. → _____

4. 친구에게 편지를 쓰다. → _____

5. 그는 공원을 걷다. → _____

6. 저는 나물을 먹다. → _____

7. 남동생은 영화를 보다. → _____

練習問題の解答

練習問題 1 : 1. 야구를 했습니다. 2. 책을 읽었습니다. 3. 엽서를 보냈습니다.

4. 신문을 받았습니다. 5. 주소를 알았습니다. 6. 선물을 주었습니다.

練習問題 2 : 1. 계시겠습니다. 2. 하시겠습니다. 3. 공부하겠습니다. 4. 쓰겠습니다.

5. 걸겠습니다. 6. 먹겠습니다. 7. 보겠습니다.

◆◆第14課 세계 여러 나라로 갈 수 있습니다.◆◆

세계의 国々へ 行けます。

14-1) 세계 여러 나라로 갈 수 있습니다.

世界の 国々へ 行けます。

14-2) 저는 한글로 편지를 쓰고 싶습니다.

私は ハングルで 手紙を 書きたいです。

14-3) 차표를 한 장 주십시오.

切符を 一枚 ください。

14-1) 비행기와 배로 세계 여러 나라로 갈 수 있습니다.

飛行機と 船で 世界の 国々へ 行けます。

●助詞：～과／와 (～と)

ㄱ) 子音で終わる単語 ⇒ ～과

밥과 국 (ご飯とお汁) 숟가락과 젓가락 (スプーンとはし)

봄과 여름 (春と夏) 가을과 겨울 (秋と冬)

ㄴ) 母音で終わる単語 ⇒ ～와

개와 고양이 (犬と猫) 소와 말 (牛と馬)

지우개와 연필 (ノートと鉛筆) 가위와 풀 (ハサミとのり)

●助詞：～로 (～に、～で) 手段、方向

사무실로 갑니다.

事務室に行きます。

우리말로 수업을 받습니다.

国語で授業を受けます。

밀가루로 지짐이를 만듭니다.

小麦粉でチヂミをつくります。

● **助詞 : ~으로 (～に、～で) 手段、方向**

손가락과 젓가락으로 먹겠습니다. 스푼とはしで食べます。
여<려>객선으로 금강산에 가겠습니다. 旅客船で金剛山へ行きます。
배편으로 짐을 보냈습니다. 船便で荷物を送りました。

● **하다, 가다, 보다, 먹다의語幹 + 르수 있습니다/있어요.**

(～できます)

「있어요」は、会話で多く話されます。

하다 ⇒ 사람을 행복하게 할 수 있습니다 (있어요).

人を幸福にできます。

가다 ⇒ 집에 같이 갈 수 있습니까? (있어요?)

家に一緒に行けますか。

보다 ⇒ 밤하늘에 별을 볼 수 있습니다 (있어요).

夜空に星を見られます。

먹다 ⇒ 나는 호박을 먹을 수 있습니다 (있어요).

私はかぼちゃを食べられます。

1 4 - 2) 저는 한글로 편지를 쓰고 싶습니다.

● **願望 : 動詞의語幹 + ~고 싶습니다/싶어요.**

(～したいです)

「싶어요」は、会話で多く話されます。

例 : 배우다 ⇒ 저는 역<력>사를 배우고 싶습니다 (싶어요).

私は歴史を学びたいです。

마시다 ⇒ 나는 맥주를 마시고 싶습니다 (싶어요).

わたしはビールを飲みたいです。

가다 ⇒ 가을에는 여<려>행을 가고 싶습니다 (싶어요).

秋には旅行に行きたいです。

하다 ⇒ 길수 씨, 주말에는 뭘 하고 싶습니까? (싶어요?)

キルスさんは、週末に何がしたいですか?

* 뭘は「무엇을」の短縮形。

14-3) 차표를 한 장 주십시오.

切符を一枚ください。

●依頼・要請：～주십시오／주세요. (～ください)

「주세요」は、会話で多く話されます。

물 좀 주세요.

水を少し下さい。

전화카드를 석 장 주세요.

電話カードを3枚下さい。

커피를 한 잔 주세요.

コーヒーを一杯下さい。

이 책을 두 권 주십시오.

この本を2冊下さい。

★練習問題：1)から5)の語句をㄱ)ㄴ)の表現に言いかえましょう。

ㄱ) ~르수 있습니다／있어요. (～出来ます)

ㄴ) ~고 싶습니다／싶어요. (～したいです)

例) 영화·보다 (映画・見る)

ㄱ) 영화를 볼 수 있어요.

映画を見られます。

ㄴ) 영화를 보고 싶어요.

映画を見たいです。

1) 국밥·먹다 (クッパ・食べる)

ㄱ)

ㄴ)

2) 바다·가다 (海・行く)

ㄱ)

ㄴ)

3) 맥주·마시다 (ビール·飲む)

ㄱ)

ㄴ)

4) 그림·그리다 (絵·描く)

ㄱ)

ㄴ)

5) 꿈·꾸다 (夢·見る)

ㄱ)

ㄴ)

練習問題の解答

1) ㄱ)국밥을 먹을 수 있어요.

2) ㄱ)바다에 갈 수 있어요.

3) ㄱ)맥주를 마실 수 있어요.

4) ㄱ)그림을 그릴 수 있어요.

5) ㄱ)꿈을 꿀 수 있어요.

ㄴ)국밥을 먹고 싶어요.

ㄴ)바다에 가고 싶어요.

ㄴ)맥주를 마시고 싶어요.

ㄴ)그림을 그리고 싶어요.

ㄴ)꿈을 꾸고 싶어요.

◆◆ 第15課 敬語 ◆◆

● 尊敬語

－ (으) 시－ すべての活用語語幹について尊敬の意味を表わします。

ㄱ) 語幹が母音で終わる場合 －시－

例 : 기다리다(待つ) ⇒ 기다리시다 ⇒ 기다리시 + ㅂ니다 ⇒ 기다리십니다.
(第10課を見てください)

선생님이 기다리십니다.	先生がお待ちです。
선생님이 오십니다.	先生がいらっしゃいます。
고기를 좋아하십니까?	肉がお好きですか?
오늘 가십니까?	きょう行かれますか?

ㄴ) 語幹が子音で終わる場合 －으시－

例 : 읽다(読む) ⇒ 읽으시다 ⇒ 읽으시다 + ㅂ니다 ⇒ 읽으십니다.

아버님은 신문을 읽으십니다.	父は新聞を読みます。 (お読みになります)
무엇을 찾으십니까?	何をお探しですか?

* 語自体が変わるもの

밥(ご飯) → 진지(お食事) 말(言葉) → 말씀(お言葉)
집(家) → 댁(お宅) 나이(歳) → 연<년>세(お年)
자다(寝る) → 주무시다(お眠りになる)
먹다(食べる) → 드시다・잡수시다(召しあがる)
있다(いる) → 계시다(いらっしゃる)

●語尾の「~아요./~어요.」(~です。~ます。)表現について

このテキストは文章体「~합니다. ~습니다.」で書かれています。

「합니다/습니다.」、「합니다?/습니다?」は、文章体の丁寧な表現です。

「~아요./~어요.」は丁寧で打ち解けた表現で、会話に多く用いられます。

①陽語幹「ㅏ, ㅑ」には「~아요./ ~아요?」をつけます。

②陰語幹「ㅓ, ㅕ以外」には「~어요/~어요?」をつけます。

③「하다」の語幹には「여요」がつき、「해요」の縮約形を用います。

④指定詞の語幹には「에요」<예요>をつけます。

区分	原形	語幹	叙述形	疑問形	意味(疑問形)
① 陽 語 幹	살다 生きる 많다 多い 가다 行く 오다 来る	살 많 가 오	살아요 많아요 [가아요⇒]가요 [오아요 ⇒]와요	살아요? 많아요? [가아요⇒]가요? [오아요 ⇒]와요?	住んでいます(か) 多いです(か) 行きます(か) 来ます(か)
② 陰 語 幹	먹다 食べる 길다 長い 마시다 飲む 피우다 煙草を吸う	먹 길 마시 피우	먹어요. 길어요. [마시어요⇒]마셔요 [피우어요⇒]피워요	먹어요? 길어요? [마시어요?⇒]마셔요? [피우어요?⇒]피워요?	食べます(か) 長いです(か) 飲みます(か) 吸います(か)
③ 하 다 用 言	하다 する 공부하다 勉強する 따뜻하다 暖かい	하 공부하 따뜻하	[하여요⇒]해요. [공부하여요⇒] 공부해요 [따뜻하여요⇒] 따뜻해요	[하여요⇒]해요? [공부하여요⇒] 공부해요? [따뜻하여요⇒] 따뜻해요?	します(か) 勉強します(か) 暖かいです(か)
④ 指 定 詞	이다 ~である 아니다 ~でない	이 아니	이에요(子音語幹) 예요(母音語幹) <예요> ~(가/이)아니예요 <예요>	이에요? 예요? <예요?> ~(가/이)아니예요? <예요?>	~です(か) ~ありません(か)



辞書の引き方

辞書をひくときには、まず調べようとする単語の最初の文字の初声子音を、次に中声である母音を、最後にパッチム(終声)を、下の表の配列順序どおりに探していきます。

	配列順序(大韓民国)
子音 (初声)	ㄱ ㅋ ㆁ ㄷ ㅌ ㄴ ㄹ ㄷ ㅌ ㅍ ㅊ ㅎ 스 ㅍ ㅌ ㅎ ㅌ ㅍ ㅎ
母音 (中声)	ㅏ ㅑ ㅓ ㅕ ㅗ ㅛ ㅜ ㅠ ㅡ ㅜ ㅝ ㅞ ㅟ ㅠ ㅡ ㅣ ㅥ ㅦ ㅧ ㅨ ㅩ ㅪ ㅫ ㅬ
パッチム (終声)	ㄱ ㅋ ㆁ ㄷ ㅌ ㄴ ㄹ ㄷ ㅌ ㅍ ㅊ ㅎ ㅝ ㅞ ㅟ ㅠ ㅡ ㅣ ㅥ ㅦ ㅧ ㅨ ㅩ ㅪ ㅫ ㅬ ㅝ ㅞ ㅎ

	配列順序(朝鮮民主主義人民共和国)
子音 (初声)	ㄱ ㄴ ㄷ ㄹ ㄷ ㅌ ㅍ ㅊ ㅌ ㅍ ㅎ ㄱ ㄴ ㅍ ㅊ ㅌ ㅍ ㅎ
母音 (中声)	ㅏ ㅑ ㅓ ㅕ ㅗ ㅛ ㅜ ㅠ ㅡ ㅜ ㅝ ㅞ ㅟ ㅠ ㅡ ㅣ ㅥ ㅦ ㅧ ㅨ ㅩ ㅪ ㅫ ㅬ
パッチム (終声)	ㄱ ㆁ ㄷ ㅌ ㄴ ㄹ ㄷ ㅌ ㅍ ㅊ ㅎ ㅝ ㅞ ㅟ ㅠ ㅡ ㅣ ㅥ ㅦ ㅧ ㅨ ㅩ ㅪ ㅫ ㅬ ㅎ ㄱ ㅍ

例) 학생 まず、最初の文字の初声の子音「ㅎ」→中声の母音「ㅏ」→
終声のパッチム「ㄱ」の順に探します。次に、2番目の文字の初声の子音
「ㅍ」→中声の母音「ㅑ」→終声のパッチム「ㅇ」の順に探して単語を確認し、
意味を調べます。 학생→学生

2003年10月1日 発行

2005年6月1日 第1回改訂

2007年6月1日 第2回改訂

編集・制作 財団法人 朝鮮奨学会

〒160-0023

東京都 新宿区 西新宿 1-8-1 新宿ビル9階

電話 03-3343-5757 fax 03-3344-3947

<http://www.korean-s-f.or.jp>